

郷土かみのかわの歴史・文化財

町指定文化財 上三川城主今泉家累代の墓

今月は長泉寺にある、上三川城主今泉家累代の墓を紹介いたします。宇都宮氏の勢力範囲の南端である上三川城は、1249（建治元）年に宇都宮氏一族の横田頼業によって築城され、代々横田氏が城主をとめました。ところが、上三川城主は横田氏から今泉氏に途中で交代することとなったのです。

この理由については、様々な説がありますが、1380（康暦2）年に上三川城の主家宇都宮氏と小山氏が激突した葦原の合戦において、上三川城主横田師綱と、その長男綱業が重傷を負ってしまい、執務を行うことが困難になったことから、今泉郷に住む綱業の弟、今泉元朝が上三川城主を継いだという説や、宇都宮氏内部における家臣団の再編が行われた結果、横

田氏一族の今泉氏が、新たに上三川城主に任命されたとの説などがあります。

今泉氏が上三川城を治めた時代は、戦国の混乱期で、関東地方を大きな戦乱に巻き込んだ享徳の乱では、1477（文明9年）に城主盛泰が命を落としたほか、1526（大永6）年の猿山の合戦でも城主盛高が討死するなど、大変厳しい時代でした。そのような中で、1504（永正元）年に城主盛朝によって、今泉家の菩提寺となる長泉寺が建立されます。そして、上三川城主今泉家の一家代々が供養されるようになるのです。その墓塔こそが、上三川城主今泉家累代の墓なのです。



上三川城主今泉家累代の墓

町巡回バス最寄りバス停
本郷路線（ピンクのバス）・上町もしくは、しらす公園

戦国時代										室町時代								時代
1568	1563	1561	1551	1549	1539	1526	1516	1509	1504	1477	1473	1467	1458	1455	1454	1449	1438	西暦
永禄11	永禄6	永禄4	天文20	天文18	天文8	大永6	永正13	永正6	永正元	文明9	文明5	応仁元	長禄2	享徳4	享徳3	宝徳元	永享10	元号月
織田信長、將軍足利義昭を奉じて上洛する。										この年、応仁の乱が終息する。								できごと
鬼怒川・田川洪水。被害は下総に及ぶ。										横田綱親、普門寺を建立する。								鎌倉公方足利成氏、関東管領上杉憲忠を殺害、関東動乱（享徳の乱）
長尾景虎関東に出陣。小山・宇都宮・小田氏等と共に北条氏の小田原城を攻める。										宇都宮城を占拠していた塩谷教綱、宇都宮城内で殺害され、塩谷家滅亡。								鎌倉公方復興。公方に足利成氏就任。
今泉家累代の墓の宝篋印塔銘文。										宇都宮氏を占拠していた塩谷教綱、宇都宮城内で殺害され、塩谷家滅亡。								幕府、鎌倉公方足利成氏討伐のため、軍勢を派遣する。宇都宮氏は幕府方として戦う。
喜連川五月女坂の合戦。宇都宮尚綱戦死。										宇都宮氏と那須氏が対立。								永享の乱。幕府、鎌倉公方足利持氏を討つ。
宇都宮家中で宇都宮俊綱・壬生綱雄（北条氏派）対芳賀高経（関東管領上杉氏派）の内紛が起きる。										上三川城主今泉盛高、合戦で討ち死。								
宇都宮忠綱と結城政朝、芳賀興綱が横川郷猿山で戦う。										今泉盛朝により長泉寺が建立される。このころ、今泉家累代の墓が作られる。								
上三川城主今泉盛高、合戦で討ち死。										今泉泰光、善心寺の仏殿及び堂舎を一新するという。								